

株式会社バカン

事業名：地域住民や観光客が安心して暮らせる街づくり

Q.実証事業に応募したきっかけを教えてください。

当社は、新型コロナウイルス感染症の脅威の中で、商店街や観光地の混雑を可視化し配信することで、住民や観光客に混雑を避けた行動を促すことで、安全・快適に生活して頂けるサービスを提供しています。クリ“ミエ”イティブ実証サポート事業では、三重県民の生活の質の向上および感染症防止対策や新しい生活様式モデルの構築の実証・社会実装を支援を掲げており、社会実装の場を求める当社のニーズと合致したため、応募を決めました。

Q.三重県で実証して良かった点を教えてください。

関わってくださった全ての方が、この新たな取り組みの趣旨に賛同し、前向きな意見を下さり、実行に移して下さいました。そのことが、新たな取り組みにおいては貴重なことだと感じました。当社は実証実験においては、施設様、商店街組合様、自治体関係者様など多くのご理解が求められる中で、各種調整して下さった三重県創業支援・ICT推進課の皆様、場所を選定して下さった四日市市商工課の皆様、そして実際に場所をご提供下さった四日市の一番街商店街・飲食店舗の皆様が前向きに取り組んで下さりました。

Q.本事業で何を実証したのか教えてください。また、その結果もあわせて教えてください。

当社は、新たな生活様式として、生活者が行きたいお店の混雑情報をスマホからいつでも確認でき、混雑状況も含めてお店を選ぶ、という体験が当たり前になると考えています。お店の混雑情報を検知するIoTボタンを導入して頂けるか、生活者に届けることができたかという点を検証を行いました。年明け早々に緊急事態宣言が出ていたこともあり、2/15から実証実験をスタートしました。スタート時点で、四日市市内の飲食店26店舗にご導入頂くことができました。店舗様からの期待の高さを感じております。今後、店舗様にも、生活者の皆様にもご満足頂けるサービスを目指していきたいと思っております。

Q.今後、この実証事業を三重県または全国でどのように展開していくのか教えてください。

本実証実験は今後も継続しますが、四日市市内での導入・検証した結果をもとに、サービスのブラッシュアップを図り、今後は三重県内の他の市町の飲食店や観光地への展開を進めて参りたいと考えております。さらに、三重県での事例や知見をベースに、他の都道府県へも自治体との連携を通じて、安全・快適に過ごしていただける新たな生活・観光様式というものを発信していきたいと考えております。



<三重県担当職員からひと言>

コロナ禍での実証はこれまでに無いご苦労があったかと思いますが、商店街の方と何度も意見交換を行い、ニーズに即して実証内容に修正を重ねていく姿勢に感動しました。コロナ禍だからこそ一層必要とされるサービスだと思います。ぜひ引き続き、三重県に“安全と安心”をご提供ください。（創業支援・ICT推進課 伊藤さん）

<実証事業の様子>

